**教師用指導案 がん教育教材「未完成マンガ」**

1　題材

「がん」への正しい理解／「がん」に対する適切な態度や行動の習得

2　本時の指導

1. ねらい

がんへの正しい理解を深め、がんになったときの心の中は、人それぞれであることを知る。

1. 準備・資料

・教師…「知識学習抜粋-画面投映用」のPC準備、「体験学習シート-出力・配付用」の生徒人数分出力（保護者向けアンケートフォーム作成含む）

・生徒…筆記用具

1. 適用可能な学習時間

・総合的な学習の時間、保健体育、家庭科　等

1. 指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 学習活動 | 留意点 |
| 導入  (10分) | 【知識学習（インプットワーク）】  **1.がんについて正しく理解する。**  ・がんは誰でもなる病気  ・がんになりにくくする行動  ・早期発見・早期治療の重要性  ・がんとの向き合い方は多様　等 | ・がんの基礎的な内容を伝え、未来の自分や身近な人が がんに罹患する可能性があることを伝える。  ・早期の発見・治療が大切なことを伝える。  ・がんに罹患した時の向き合い方やサポートの仕方も人それぞれであることを伝える。 |
| 展開  (30分) | 【体験学習（アウトプットワーク）】  **『未完成マンガ』**  **2.がんになったときの心の中を想像する。**  ・マンガシートを読み、各自がんになった人物になりきって自分の心の中を想像し、相手に「かけられたい言葉」をセリフとして言語化。マンガ内の空欄を埋める。  **3.他者との共有により、想像した心の中が人それぞれであることを知る。**  ・各自が考えたセリフをペアやグループで発表しあい、意見交換をする。  ・グループで共有した内容をもとにクラス内で発表する。 | ・自分ががんになったときの「自分らしさ」や「自分の心の中」を想像させる。  ・発表するときは、なぜそのマンガを選んだか、なぜその言葉にしたかの理由も合わせて発表するように伝える。  ・がんに対する考え方は人それぞれであり、どんな意見も肯定的に捉えることが大切であると伝える。  ・4つのマンガに共通している設定「検診を受けたことで早期発見ができた」ことにも着目させる。 |
| まとめ  (10分) | **4.ワークをふり返る（保護者への案内も）。**  ・誰もが がんになるからこそ、がんになった人の想いも多様である。 | ・がんになった人の想いが多様であるという当たり前に気付かせ、相手の心に寄り添える人になることの大切さを共有する。 |

※児童養護施設などから中学校に通っている（保護者不在の）生徒様には、「ふり返り」のシート配付について別途ご検討いただけますようお願い申し上げます。